

# この人に聞く

エフ・アイ・ティーパーシフィック 田中翔氏

当社はドイツ製の耐普及しており、フィル熱ホースを取り扱って、タを介した回収自体におり、溶接ヒュームの問題は無いが、耐熱温吸引回収における付加価値や火花対策などに不価値として装置メーカーが残る。

塩ビホースの耐熱は、ユーザーへ提案をセ氏60度ほどしかしていない。多くの溶接セ氏60度ほどしかなく、可塑剤が含まれては塩化ビニール(塩化ビニール)の塩化ビニール(塩化ビニール)ホースが化し、割れやすくなる。



耐熱ホースを手にする田中氏

当社の耐熱ホースCPシリーズは、特殊製法でホース壁の生地を外周鋼線でらせん状に絞(かし)めた構造になっており、引きずりによる外傷や擦れに強く、また接着剤や可塑

## 溶接ヒューム吸引回収の付加価値として ドイツ製の難燃ホース

剤は使用しないため、徴だ。トーチが動きな吸引による脱落がしにくい1層から多層構造となっている。燃性のホースはなかなか存在しないと自負す

外周ステンレス鋼線とガラス繊維、外周亜鉛めっき鋼線と特殊コーティングされた耐熱繊維のバリエーションで、耐熱温度もセ氏マインナス60度から1100度まで幅広く対応し、欧州ATEX指令や独DIN規格にも準拠した難燃・防爆製品ラインアップである。野へ導入が進んでいる

耐熱メタルホースシリーズは、難燃性・耐久性に加え、耐屈曲性にも優れ、例えば溶接ロボット、トーチ吸引部に組み込まれ、その動きに追従する柔軟性も特